

# 人権学習展開例（第1学年）

主題名 友達や自分のことを知ろう

教材名 ぼく わたし はっけん

(参考資料：「わたし 出会い 発見」大阪府人権教育研究協議会編)

人権学習の視点 普遍的な視点「自尊感情」



主題・教材について

子どもたちは日々の生活の中で、表面上に表れている様子で人を判断したり、他人との様子の違いを気にしたりすることがある。また、自分で考えないで人の意見に流されてしまう子どももいる。この取組を通して、自分が書いたことをみんなの前で発表し、個々の違いや良さに気付くことができるようにしたい。また、お互いを認め合える関係を作りたい。

ねらい

自分のもついろいろな面を見つめ、お互いの良さ、個性を認め合う中で、自分に自信をもたせる。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○教師が自分のことを話すことによって、本時の学習課題をつかませる。	一斉	○教師の話聞き、本時の学習課題を知る。	○話の内容は児童の実態を配慮したものにす。	
	<b>友達や自分のことを知ろう</b>				
展開	○カードの書き方を理解させる。	一斉 個別	○カードの書き方の説明を聞き、ワークシートに書く。	○書きたいカードから書かせる。 ○6つのカードがあるが、児童の実態を考えて減らしてもよい。 ○全部のカードが書けなくてもよいことを知らせる。 ○書けない児童にはそばへ行き、日ごろの様子を思い出させる。	資料名 「ぼく わたし はっけん」 ワークシート
	<b>書いたカードをもとに、自己紹介をしよう</b>				
	○書いたカードをもとに交流させる。	一斉	○ひとつの項目ずつ発表する。 (発表ルールの場合) ・書いていない場合はパスができる。 ・発表者が言い終わると「そうなんだ」とみんなで声をそろえて言う。 ・自分と違う点、共通点を知る。	○発表している時は、発表している人を見て、しっかり聞き、相手の発表を認めること、新しい発見をすることが大切であることを知らせる。(まとめて発表するもよい) ○発表者が言い終わるたびに「そうなんだ」コールをすることで、お互いを認め合うことを体験させる。	
まとめ	<b>今日の学習の感想を発表しよう</b>				
	○自分や友達について「はっけん」したことを交流させる。	一斉	○学習の感想を発表する。	○一人一人の感想を大切にす。	

評価

自分のもついろいろな面を見つめ、お互いの良さ、個性を認め合う中で、自分に自信をもつことができたか。

